



図書館だより 2月号

2025年2月発行 江南市立西部中学校 図書館司書 木本規志子



2025年の節分は2月2日、立春は2月3日です。節分は、江戸時代より以前は、各季節の始まりの日(立春・立夏・立秋・立冬)の前日とされてきました。というのも、季節の変わり目には邪気(鬼)が生じると考えられており、それを追い払うために福豆(煎り大豆)をまきながら「鬼は外、福は内」と声を出し年齢の数だけ(もしくは1つ多く)豆を食べる厄除けを行うという風習があります。

犬山成田山の豆まきは、本尊の不動明王の前では鬼も改心してしまうという言い伝えから「鬼は外」は言わずに、「福は内」だけを繰り返すのが特徴です。皆さんのところにも「福は内」!



図書館からの大切なお知らせ

★年度末の貸出と返却について

◎ 3年生 貸出は2月14日(金)まで 最終返却日は**2月28日(金)**

◎ 1・2年生 貸出は3月5日(水)まで 最終返却日は**3月19日(水)**

★読書月間

◎ 2月12日(水)~3月14日(金) 1・2年のみ

(2月19日(水)~2月28日(金)テスト週間のため除きます。)

・図書館の本を一人3冊まで
借りられます。
・ポイントが2倍になります。

新着図書

リクエスト本も入りました。



「そういうゲーム」ヨシタケシンスケ/著

『メメントモリ』に続く、ヨシタケシンスケのもうひとつの世界。

毎日いろんなゲームをする。何があってもゲームをする。なぜならそういうゲームだから。ヨシタケシンスケが描く、ゲームとしての日常が描かれています。



「ニュートン科学の学校シリーズ 海の学校」藤倉 克則/監修

科学雑誌『Newton』が贈る児童向けの書籍シリーズです。

海にまつわる知識や、生き物たちについての情報を紹介しています。



「最新オールカラー 電気自動車のしくみ」森本 雅之/監修

電気自動車のメカニズム、取り巻く環境、未来がわかる!

この他にも、「架空犯」東野圭吾著、「龍神の雨」道尾秀介著、「はじまりはひとつのアイデアからーディズニー、ナイキ、グーグル、レゴ」シコル、ローウィ・バンディ著など、30冊ほど入りました。

西中ライフライナー 第2弾

西中 LIBRARY

長谷川先生のおすすめ

「タモリのジャポニカロゴス」

山田良明/著
私たちが話している日本語。正しく使えていますか？

「わくわく」と「うきうき」

どちらがより待ち遠しいか

知っていますか？

わかりやすく解説されています。



西中 LIBRARY

森島先生のおすすめ

「どちらかが彼女を殺した」

東野圭吾/著
東野圭吾さんの作品の中でもこの作品は推理しがいがあったり、予想外の結果だったりして、一番読みやすい上に、おもしろいと思います。



西中 LIBRARY

2-2のKさんのおすすめ

「誰が勇者を殺したか」

駄犬/著
勇者とパーティーを組んでいた騎士、僧侶、賢者から語られる勇者の人生から隠されていた真実が明らかになるとき、意外さ、感動を感じられます。



西中 LIBRARY

井戸先生のおすすめ

「そして、バトンは渡された」

瀬尾まいこ/著
登場人物がすごく素敵な人ばかりで、読んでいて心が温くなる一冊です。映画化もされています。



西中 LIBRARY

内藤先生のおすすめ

「世界の名詩を読みかえす」

飯吉光夫/著
「本との出会いは人との出会い」とよく耳にします。詩集は、いろんな人の価値や考え方の違いをこえて、人として心通う瞬間があります。



西中 LIBRARY

三ツ口先生のおすすめ

「あんなにあんなに」

ヨシタケシンスケ/著
「あんなに〇〇だったのに、もうこんな」、というリズムのいい言葉に、様々な感情が含まれていて、色々考えさせられます。本当に涙腺崩壊レベルです。



西中 LIBRARY

松浦先生のおすすめ

「星の王子様」

サン・テグジュペリ/著
「心で見えなければ物事はよく見えないってこと。大切なことは目に見えないんだ」このフレーズにとても感動しました。



西中 LIBRARY

加藤先生のおすすめ

「ハリーポッターシリーズ」

J.K.ローリング/著
映画では語られていないような主人公3人の関係や友情、絆の深さがよく描かれていて、映画好きな人にも新たな発見が多いはずですよ。



西中 LIBRARY

若松先生のおすすめ

「夢の超特急」、走る！
—新幹線を作った男たち

碓義朗/著
計画から車両の設計、路線工事を経て、運転開始までのドキュメンタリー。そのへんの小説より遥かにドラマチックです。

